

生活クラブが保育園をつくったら…

2017年12月11日 第2次福祉政策プロジェクト

生活クラブ千葉では、2000年に特別養護老人ホーム「風の村」を開設したのをスタートに、保育園、診療所、障がい児者施設、乳児院などを順次開設。生活困窮者自立支援事業、高齢者在宅サービス事業などに着手。赤ちゃんから高齢者まで、幅広い地域福祉に取り組んでいます。

10月10日、私たちは2つの保育園（生活クラブ風の村保育園「佐倉東」「八街」）を見学させていただきました。佐倉東は0歳～5歳（定員120名）、八街は0歳から5歳（定員60名）の認可保育園です。

※今回は、佐倉東保育園を紹介します。



生活クラブ生協の保育園は…

パンフレットには、

『感じるこころを育み、創造する力を養う』

- ① たっぷりあそぼう
- ② 身近な自然の中で
- ③ 季節を感じながら

とあります。この理念を実践した保育園が、そこにありました。



キャラクターのない園内、建物も家具も自然の素材

園内は、建物、机や椅子、カバンかけ等が特注の木製。白木のおもちゃや布製の人形で子ども達が遊んでいます。「プラスチックのものやキャラクターが悪いとは思いませんが、日常生活にあふれているので、せめて園では、ゆったりとした環境で過ごして欲しいと考えています。」と園長先生が言われていました。



園庭にはジャングルジムもブランコもなく、園児は遊びを自分たちで作り出すのだそうです。創造する力を養うとはそういうことなのですね。どろんこになっていいように、外遊び用の靴を各自で準備し、汚れた手足を洗う洗い場が園庭に面してあります。



←足洗い場

↑外遊び用靴箱



2歳児保育室

給食は、すべて生活クラブ生協の消費材



ガラス張りの調理室

調理場はガラス張りで、給食ができ上がる様子を子どもたちが見ることができます。ワクワクしながら給食を待つのも食育です。

認可保育園ですので、組合員以外の保護者が大半です。時間をかけて理念を説明し、ご理解をいただいているそうです。

すべて生活クラブ生協の消費材と聞くと、採算が気になりますが、大丈夫とのこと。生活クラブ生協の消費材は少し割高じゃないかしら…と、思っていた私は、反省しました。



給食風景

福祉事業はその人らしく暮らすために必要

生協が福祉に取り組む必要性に半信半疑でしたが、生活を守るためには、食だけでなく、福祉を生協事業にすることが必要なのだと思いました。『ひとつの事業から始め、福祉の領域を広げていく。思いがあればやれるんだ!』と、刺激を受けました。

〔NPO法人ハートネット 吉浦 泉〕